

第91回親子で自然を楽しむ会 幕張の浜 化石収集

アンケートへの返答、追加説明

東星学園小学校 萩野友紀

アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。お答えできる部分について回答させていただきます。

1) レアということについて

レアということにこだわった感想(レアな化石を拾いたかった、レアな化石を教えておいてほしかった など)が多かったので、私見を述べます。

令和2年に世界に認定されたチバニアン期は、約77万4千年前から12万9千年前までの時期なので、A区分の化石は完全にチバニアン期の化石です。

チバニアン期の地層を掘ることは、認定後は禁じられているので、ここでしか手に入らないという意味では、A区分の化石は全て超レアです。

チバニアン期の説明は以下のリンクをご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/bunkazai/chibanian/documents/syouchuyou.pdf>

千葉県作成のチバニアンに関するポスターのリンクです。このポスターの下部で紹介されている地層、化石などは天然記念物、ジオパーク内などの理由ですべて化石を採集することはできません。特に、沼サンゴなどは鉄の柵越しでしか見物できません。(駐車場なし)ですので、この「幕張の浜」はチバニアン期の化石を採取できる穴場です。

この話を、募集の際にしてしまうと、收拾がつかなくなるほどの応募が予想されたので、あえて触れていません。どうぞ胸にしまっておいてください。

2) 他の観察地についても知りたい

他の観察地でも拾ってみたいとのご意見がありました。こちら、千葉県立中央博物館で観察会を行っている場所です。遠いので、「親子で自然を楽しむ会」にはふさわしくないと判断しました。ただ、個人的に行っても、海岸ですぐに化石を拾えます。

場所は「富津市八幡 新舞子海岸」です。海水浴場駐車場のすぐ目の前です。Google マップなどで検索してみてください。

ここでは以下のような化石が拾えます。幕張の浜と同じく、A 時代、B 時代の化石が拾えます。コンクリーションはすぐに見つかります。さらに、哺乳類の化石（トウヨウゾウ、ムカシマンモスゾウの臼歯（きゅうし：奥歯） 約60万年前）も出るようです。

詳しくは、千葉県立中央博物館の HP で、観察会の募集をチェックしてください。



私が拾った化石の標本ですが、1万年前の化石です。ツメタガイは現生。

3) 地層をたたいて化石を掘り出したい

今年度の10月開催の多摩川立川での観察会では、石に埋まった貝化石をハンマーで発掘できました。

埼玉県入間川でも化石発掘ができます。この件は、狭山市立博物館のイベント告知をご覧ください。報告も上がっています。

ただ、地層を直接叩いて化石を掘り出すことに関して、近年は以下の困難があります。

- ・土砂崩れ防止のためのコンクリートでの補強工事
- ・線状降水帯の発生などによる断崖の露頭の脆弱化
- ・化石産地はほぼ国定公園、国立公園、天然記念物指定、ジオパーク指定などで保護されていて発掘できなくなっています。

したがって、博物館主催の化石採取、観察会がお勧めです。

4) 骨に関して

① 鳥の頭の骨

女子児童が鳥の頭の骨を拾って見せに来てくれました。その場で、種類まで断定できませんでした。

学習院の染谷先生にも見せていたそうで、染谷先生は国立科学博物館の学芸員に見せることを勧めたそうです。その後、HPで調べると、以下のオオセグロカモメであったかもしれないとの染谷先生のご意見でした。

・オオセグロカモメの頭骨ではないか

<https://ktrsjn.jimdofree.com/%E9%9D%9E%E3%82%B9%E3%82%BA%E3%83%A1%E7%9B%AE%E3%81%AE%E6%A8%99%E6%9C%AC/%E3%82%AA%E3%82%AA%E3%82%BB%E3%82%B0%E3%83%AD%E3%82%AB%E3%83%A2%E3%83%A1/>

② コウイカの骨

保護者の方が、コウイカの甲骨を拾ってらっしゃいました。

・コウイカの甲骨

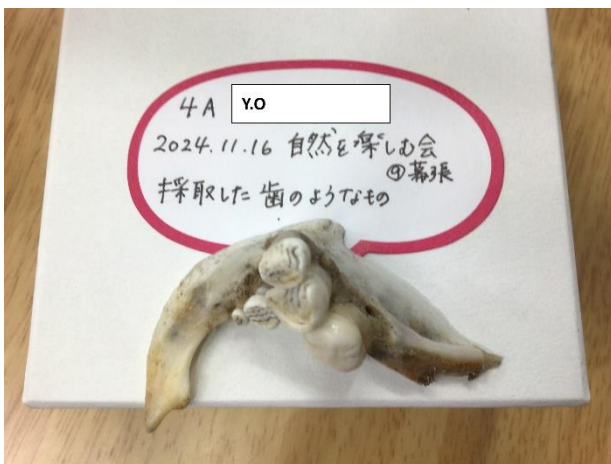
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/blog/category/ikapedia/ikazukan/kouika.html>

③ 魚の骨

魚の背骨を拾った方が何人かいらっしゃいました。

ボラの骨かと思いました。

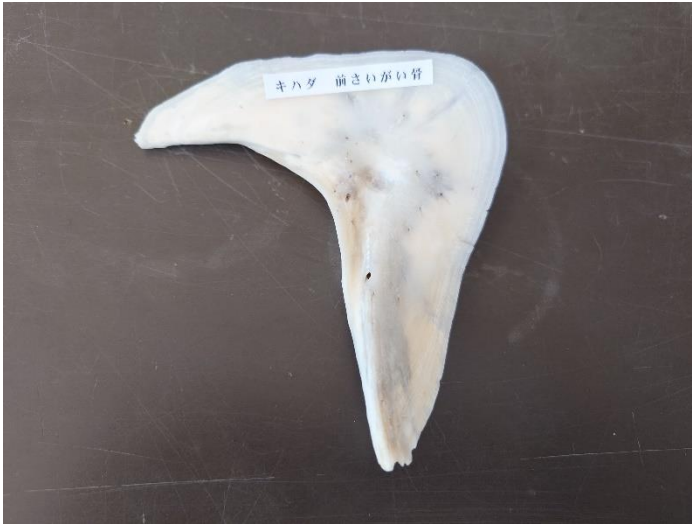
<http://doubutsuitai.la.coocan.jp/borav.html>



また、立教女学院小学校4年生 Y.O さんが拾った骨は、川にいるコイの骨ということに大澤先生が気付きました。おうちの方と調べたところ、コイの咽頭歯（いんとうし）ではないかとのことです。

この論文の写真5にそっくりです。

<http://www.tansuitaigyo.com/k-3.html>



私は、キハダの前さいがい骨（ぜんさいがいこつ）を拾いました。同じような骨を拾った人もいました。

5) 標本に関して追加

下見に参加されていた国立音楽大学附属小学校の西川先生から、ご意見いただきました。

標本に名前のシールを付ける際には、「鉛筆か、顔料インキペンで書くのがよい」とのご経験からのご指摘でした。

6) 今回拾えた化石の紹介

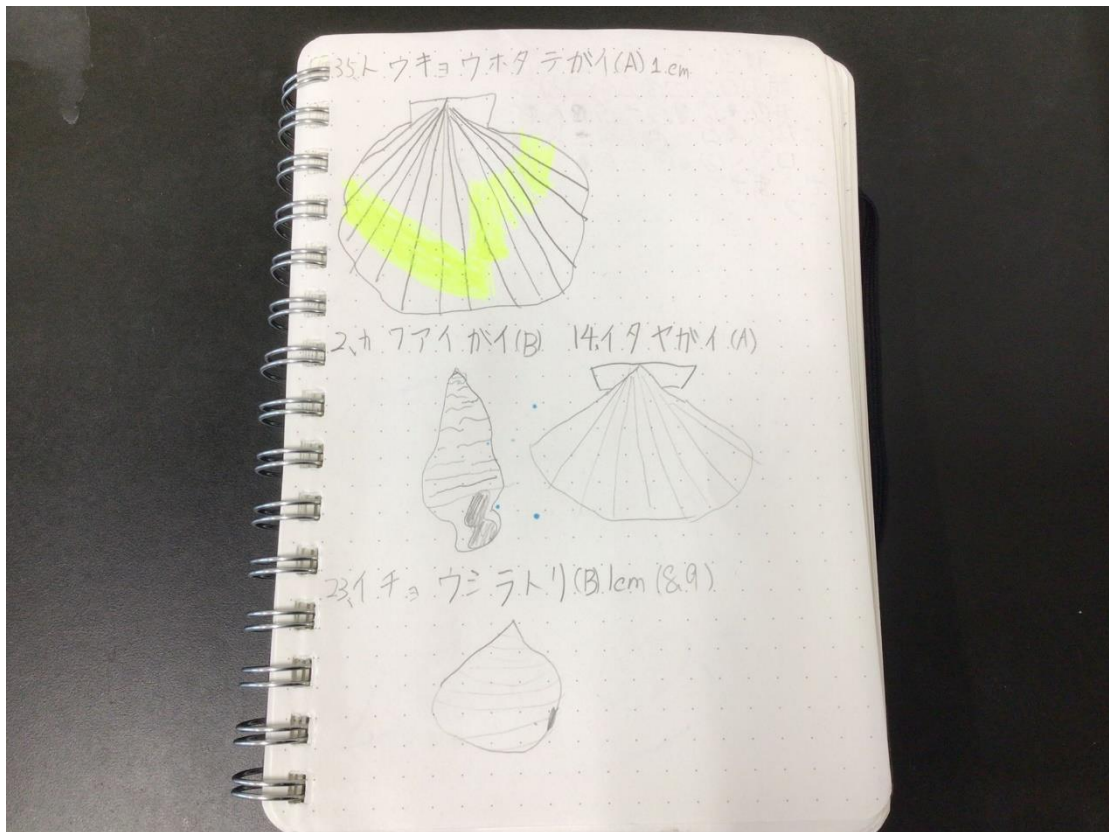
文教大学附属小学校の S.E くんが面白いコンクリーションを拾ったので紹介します。

イチョウシラトリとヤマトオサガニがコンクリーションでつながっています。





立教女学院小学校3年生の M.I さんがこのようなスケッチを書いてくれました。



参加者の皆様が、思い思いに楽しんでいただけたようで、企画してよかったと思っております。